

令和5年度

学校要覧



岩手県立杜陵高等学校

杜陵高等学校校歌

作詞 小田島 憲
作曲 千葉了道

心をこめて ♩=96位
mf

ゆ た か に そ び ゆ る い わ て や ま
し た か に そ び ゆ る い わ て や ま
ふ ん じ よ う は そ お や の お の に こ さ か ま け ど

mf

た か ま つ の は な ら は る た け て
し かん くに も ゆ なる は る た け て
ゆ う じ ゅ う あ つ き か た ら い に を

f

そ ら に み だ 一 れ て ま ど 一 に ち 一 る
に ま ら み ま だ 一 れ て ま ど 一 に ち 一 る
ま ど は し ん 一 じゆ の わ い ろ 一 に さ 一 ぞく

mp

あ 一 あ こ り 一 が れ の こ の し ろ 一 に わ れ ら は た ら き
い し わ り 一 ざ く ら の こ き は し く も 一 て わ れ ら は た ら き
あ 一 せ い 一 し ゆ ん を お し み な 一 く わ れ ら は た ら き

mf

ま な ぶ も の け が れ て め い の 一 ち ゆ め 一 わ か く
ま な ぶ も の け が れ て め い の 一 ち ゆ め 一 わ か く
ま な ぶ も の け が れ て め い の 一 ち ゆ め 一 わ か く

作詞 小田島 憲
作曲 千葉了道

一、ゆたかに聳ゆる 岩手山
高松の桜 春開けて
空に乱れて 窓に散る
ああ あこがれの この城に
われら 働き学ぶもの
けがれぬ生命 夢若く

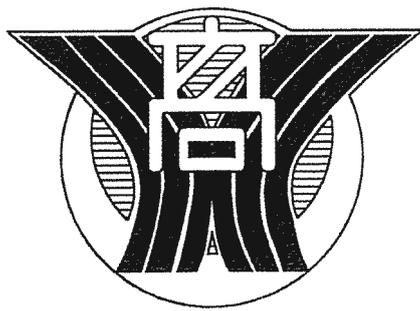
二、身上おのおの 異なれど
真紅に燃ゆる 日輪を
睨み舞いたつ 若鷹ぞ
石割桜の気魄もて
われら 働き学ぶもの
双手を揚げて 雲を呼ぶ

三、吹雪は暗夜に 逆巻けど
友情熱き 語らいに
窓は真珠の 色に咲く
ああ 青春を惜しみなく
われら 働き学ぶもの
進むこの道 胸は鳴る

校訓

熱意 誠意 創意

校章



校歌にうたわれている日輪と若鷹をデザインし、真紅の日輪をにらんで、若鷹の翼が雄々しく飛ばたき、働きながら学ぶ者の限りない前進を表現したものである。

また、翼を三枚の羽であらわしたのは、本校の教育が、知育・徳育・体育の統一された
全人教育をめざすことを示すものである。

目 次

1	沿 革	1
2	歴代校長	4
3	教育目標	5
4	設置課程及び学科	6
5	教育課程・生活時程	7
6	年間行事予定表	12
7	学校運営	14
8	生徒在籍状況	17
9	過去3年間の進路状況	20
10	生徒会機構	22
11	学校図書館	22
12	教育振興会	23
13	PTA・FTA	23
14	同窓会	23
15	施設の状況	24

1 沿 革

(1) 私立盛岡夜間中学時代

大正 13 年 10 月 13 日	岩手県立図書館の一部を借用して授業開始
大正 13 年 10 月 24 日	私立学校令により「私立盛岡夜間中学」として創立認可(修業年限高小卒 3 年)
昭和 2 年 2 月 14 日	「青年訓練所課程と同等以上」の認定を受ける
昭和 7 年 10 月 31 日	学則変更により修学年限 4 カ年、定員 200 名
昭和 8 年 10 月 31 日	組織変更により青年訓練所課程の認定取消
昭和 9 年 3 月 9 日	「財団法人盛岡夜間中学後援会」を設立認可
昭和 9 年 3 月 13 日	「昭和 9 年 3 月以降ノ卒業生ヲ専門学校入学ニ関シ中学校卒業生ト同等以上ノ学力ヲ有スルモノ」の指定を受ける
昭和 9 年 10 月 24 日	創立 10 周年記念式典を挙げる
昭和 11 年 4 月 13 日	「青年学校課程と同等以上」の認定を受ける
昭和 11 年 12 月 26 日	兵役法施行令第 100 条第 3 号の規定により徴兵延期の認定を受ける
昭和 12 年 9 月 30 日	盛岡市仁王第 1 地割内丸 58 番地の旧岩手県立工業学校校舎を買い受けて移転
昭和 14 年 10 月 24 日	創立 15 周年記念式典を挙げる
昭和 15 年 7 月 24 日	鈴木勝二郎氏、初代専任学長に任命
昭和 16 年 3 月 26 日	学則改正により定員 400 名

(2) 岩手県立杜陵中学校時代

昭和 18 年 3 月 31 日	校舎校地一切を岩手県に寄附、学校設置者を岩手県に変更し「岩手県立盛岡夜間中学校」と改称 同年、私立盛岡夜間中学後援会を解散
昭和 18 年 4 月 1 日	盛岡市新庄鹿島下田中 32 番地岩手県立盛岡商業学校の一部校舎を借用、移転
昭和 18 年 11 月 1 日	「岩手県立杜陵中学校」と改称
昭和 22 年 4 月 1 日	六・三制の義務教育により、併設中学校に切替 1 年生は、併設中学校 3 年に切替 (入学資格が高等科 2 年終了であったため)

(3) 岩手県立杜陵高等学校時代〔I〕(旧・盛岡一高通信制時代)

昭和 23 年 4 月 1 日	学制改革により「岩手県立杜陵高等学校」と改称
昭和 23 年 4 月 1 日	学制改革により通信教育部を盛岡第一高等学校・一関第一高等学校に新設 定員は高校部 250 名、中学部 55 名の生徒で発足
昭和 24 年 10 月 17 日	盛岡市内丸 58 番地の 2 に、独立校舎を新築して移転
昭和 24 年 10 月 22 日	新校舎落成祝賀会並びに創立 25 周年記念式典を挙げる 同窓会によって鈴木勝二郎先生の胸像建設除幕式を挙げる
昭和 25 年 4 月 1 日	高等学校第 1 学年入学 岩泉高等学校定時制本校、小川分校、田野畑分校と定通併修を開始
昭和 26 年 4 月 1 日	男女共学制となる
昭和 27 年 4 月 1 日	昭和 25 年度から一関第二高等学校に移っていた通信教育部が盛岡第一高等学校に統合
昭和 28 年 9 月 1 日	新装図書館落成
昭和 29 年 3 月 31 日	郵政省より旧盛岡夜間中学の講堂を譲渡される
昭和 29 年 10 月 22 日	創立 30 周年記念式典を挙げる
昭和 30 年 4 月 1 日	通信制の全科目が開講し、通信制のみで卒業が可能に、初の卒業生 1 名
昭和 34 年 10 月 24 日	創立 35 周年記念式典を挙げる
昭和 35 年 7 月 4 日	2 教室増築落成
昭和 37 年 8 月 28 日	盛岡第一高等学校創立 80 周年記念事業として新校舎完成、その事業の一環として通信制に専用 2 教室・併用 7 教室

昭和 38 年 4 月 1 日 NHK 学園高校が発足し、その協力校となる
 昭和 39 年 4 月 1 日 県立浄法寺農場実習生 120 名集団入学
 昭和 39 年 10 月 24 日 創立 40 周年記念式典を挙

(4) 岩手県立杜陵高等学校時代〔Ⅱ〕(定通センタースクール時代)

昭和 43 年 4 月 1 日 条例改正により定時制課程普通科のほかに定時制商業科、通信制普通科を設置 (在籍生徒数は定時制 518 名、通信制 1,525 名)
 昭和 43 年 7 月 24 日 盛岡市上田二丁目 3 番 1 号に新校舎ならびに寄宿舎竣工
 昭和 43 年 8 月 20 日 新校舎に移転完了
 昭和 43 年 11 月 3 日 開校記念並びに新校舎落成式典を挙
 昭和 44 年 4 月 1 日 条例改正により通信制に農業科、生活科、衛生看護科を設置し、3 農場、7 准看護学院と技能連携教育開始
 昭和 45 年 4 月 1 日 旧岩手県立盛岡工業高等学校の校地ならびに一部校舎を移管
 昭和 45 年 11 月 1 日 旧岩手県立盛岡工業高等学校校舎第 1 期改築工事完了、管理室等移転
 昭和 46 年 4 月 1 日 旧盛岡工業高校校舎第 2 期改築完了、特別教室等移転
 通信制に駐在員を派遣、水沢商業高等学校と福岡高等学校に教員各 1 名を配置
 昭和 47 年 10 月 30 日 旧盛岡工業高等学校建物敷地跡を整地し「ケミコライザー工法」によりグラウンド完成
 昭和 48 年 4 月 1 日 通信制駐在員を増員し、水沢商業高等学校に 2 名、福岡高等学校に 3 名を配置
 昭和 48 年 8 月 23 日 夜間照明灯 4 基新設
 昭和 49 年 4 月 1 日 通信制に分室を設け、宮古分室(宮古高等学校内)に 4 名、水沢分室(水沢商業高等学校内)に 3 名、福岡分室(福岡高等学校内)に 2 名の教員を配置
 昭和 49 年 5 月 24 日 完全給食室新設(食堂 510 m²、厨房 109 m²、その他 199 m²)
 昭和 50 年 3 月 1 日 格技場新設(350 m²)
 昭和 50 年 4 月 1 日 通信制宮古、水沢両分室の教員を増員し各 6 名を配置、福岡分室を廃止
 定時制商業科 2 学級から 1 学級減
 昭和 50 年 11 月 3 日 創立 50 周年記念式典を挙
 昭和 51 年 5 月 20 日 盛岡少年刑務所収容者の通信制巡回面接指導開始
 昭和 54 年 4 月 1 日 通信制宮古、水沢両分室に教頭を配置
 昭和 55 年 4 月 1 日 定時制普通科 1 学級減
 昭和 56 年 4 月 1 日 定時制課程に技能連携教頭を配置
 昭和 56 年 4 月 14 日 定時制普通科と盛岡高等職業訓練校と技能連携を開始
 昭和 57 年 2 月 25 日 創立 60 周年『校誌』を刊行
 昭和 57 年 4 月 1 日 定時制課程普通科にインテリアコース、建築コースを設置
 昭和 57 年 12 月 1 日 校門移転、校内通路を舗装
 昭和 58 年 11 月 16 日 体育館全面改修、落雪防護柵を設置
 昭和 60 年 3 月 10 日 定時制技能連携コース 8 名、初の卒業生となる
 昭和 61 年 4 月 25 日 単位制高校問題検討委員会を設置
 昭和 61 年 7 月 19 日 定時制同窓会・通信制若竹同窓会を統一、岩手県立杜陵高等学校同窓会となる

(5) 岩手県立杜陵高等学校時代〔Ⅲ〕(単位制導入時代)

昭和 63 年 4 月 1 日 定時制課程に単位制を導入 普通科昼間部 2・夜間部 2 の計 4 学級編成となる
 昭和 63 年 7 月 9 日 定時制の PTA・ETA(教育振興会)が統合し、杜陵高等学校定時制教育振興会となる
 平成 元年 4 月 1 日 定時制昼間部 2・夜間部 1 の計 3 学級編成、及び 2 年次・3 年次への転編入生クラスを設置 定時制に「聴講生」制度を開設
 平成 2 年 4 月 1 日 定時制完成年度を迎える 旧定時制 4 年生は最後の旧定時制生徒となる

平成 3 年 3 月 10 日	定時制第一回生、旧定時制最終生卒業
平成 3 年 9 月 30 日	定時制前期卒業式を実施し、4 年次生（普通科 5 名）卒業
平成 3 年 10 月 1 日	定時制後期入学式を実施

（6）岩手県立杜陵高等学校時代〔Ⅳ〕（3 部制導入時代）

平成 5 年 4 月 1 日	定時制に 3 部制を導入 通信制課程水沢分室と一関文化服装専門学校との技能連携を開始
平成 6 年 4 月 1 日	定時制 1 部 1 学級増、入学募集定員 160 名
平成 6 年 6 月 2 日	PTA・教育振興会総会（PTA 再スタート）
平成 6 年 11 月 26 日	創立 70 周年記念講演会
平成 6 年 11 月 28 日	新校舎竣工（管理棟・普通教室棟・特別教室棟）
平成 6 年 12 月 5 日	新校舎移転、授業開始
平成 7 年 3 月 7 日	定時制教務システム稼働
平成 7 年 3 月 10 日	新体育館・部室竣工
平成 7 年 6 月 11 日	新校舎落成並びに創立 70 周年記念式典を挙げる
平成 8 年 3 月 26 日	グラウンド竣工
平成 8 年 9 月	教育相談室開設（スクールカウンセラー設置）
平成 10 年 6 月 10 日	第 50 回全国高等学校通信制教育研究会盛岡大会の開催
平成 12 年 5 月 1 日	ホームページ開設
平成 12 年 11 月 30 日	通信制初の海外修学旅行（韓国）
平成 13 年 12 月 21 日	いわて教育情報ネットワーク整備事業に係るコンピュータの設置
平成 14 年 4 月 1 日	宮古分室へ専用教室が設置され夜間スクーリング廃止
平成 15 年 1 月 1 日	定時制教務システム更新
平成 15 年 4 月 1 日	定時制募集定員 前期 120 名、後期 40 名
平成 15 年 10 月 26 日	創立 80 周年記念講演会
平成 16 年 2 月 6 日	第 1 回学校評議員会開催
平成 16 年 10 月 24 日	創立 80 周年記念式典を挙げる
平成 17 年 3 月 22 日	創立 80 周年記念誌を刊行
平成 17 年 4 月 1 日	文部科学省「定時制・通信制ステップアップ事業」実践研究指定校（2 ヶ年継続）
平成 19 年 4 月 1 日	定時制募集定員 前期 100 名、後期 60 名
平成 19 年 4 月 1 日	文部科学省「定時制・通信制チャレンジ事業」実践研究指定校（1 ヶ年定時制）
平成 20 年 10 月 17 日	県議会可決を受け、岩手県立学校設置条例の一部が改正され、昼間・夜間の二部からなる単位制の定時制課程と杜陵高校通信制水沢分室を移行した通信制課程を有する「奥州校」設置が確定する。
平成 21 年 4 月 18 日	岩手県立杜陵高等学校奥州校（定時制課程・通信制課程）開校式・入学式
平成 21 年 4 月	通信制 2 期制実施、奥州校通信制完全 2 期制（前・後期入学）実施
平成 24 年 2 月 22 日	奥州校屋内運動場竣工
平成 24 年 3 月 27 日	寄宿舎耐震補強工事完了
平成 26 年 10 月 19 日	創立 90 周年記念式典を挙げる
平成 27 年 3 月 1 日	創立 90 周年記念誌を刊行
平成 30 年 3 月 12 日	格技場竣工
平成 30 年 4 月 1 日	杜陵高等学校通信制宮古分室を宮古高等学校へ移管
平成 31 年 3 月 14 日	本校校舎棟、普通教室及び特別教室等エアコン設置工事完了
令和 元年 10 月 28 日	杜陵高等学校奥州校創立 10 周年記念式典を挙げる
令和 3 年 9 月 6 日	奥州校普通教室等エアコン設置工事完了
令和 5 年 3 月 2 日	寄宿舎閉舎

2 歴 代 校 長

(1) 夜間中学～旧杜陵高等学校

初代	久米成夫	学 長	大 13. 10. 24	～	大 14. 10. 24
2代	関 莊 二	〃	大 14. 10. 24	～	昭 2. 5. 19
3代	栗田五百枝	〃	昭 2. 6. 7	～	昭 5. 8. 28
4代	真崎長年	〃	昭 5. 9. 29	～	昭 7. 4. 6
5代	湯本二郎	〃	昭 7. 4. 25	～	昭 10. 2. 1
6代	伊藤謹二	〃	昭 10. 2. 10	～	昭 13. 1. 21
7代	後藤真三郎	〃	昭 13. 1. 21	～	昭 15. 4. 10
8代	鈴木勝二郎	〃	昭 15. 7. 24	～	昭 15. 7. 31
9代	見坊田 鶴 雄	〃	昭 15. 7. 31	～	昭 17. 2. 20
10代	高橋理八郎	〃	昭 17. 2. 20	～	昭 18. 3. 31
11代	三沢長次	校 長	昭 18. 4. 1	～	昭 22. 1. 18
	伊藤梅吉	校長事務取扱	昭 22. 1. 18	～	昭 22. 3. 30
	佐藤繁樹	〃	昭 22. 3. 31	～	昭 22. 5. 30
12代	佐藤繁樹	校 長	昭 22. 5. 31	～	昭 24. 3. 30
13代	藤村儀平	〃	昭 24. 4. 1	～	昭 30. 3. 30
	小松代融一	校長事務取扱	昭 30. 4. 1	～	昭 30. 11. 6
14代	高橋久次郎	校 長	昭 30. 11. 7	～	昭 32. 3. 31
15代	鈴木重徳	〃	昭 32. 4. 1	～	昭 35. 3. 31
16代	高橋久雄	〃	昭 35. 4. 1	～	昭 37. 3. 31
17代	小田島定夫	〃	昭 37. 4. 1	～	昭 43. 3. 31

(2) 杜陵高等学校 (定通センタースクール)

18代	中条惟信	校 長	昭 43. 4. 1	～	昭 46. 3. 31
19代	目時隆太郎	〃	昭 46. 4. 1	～	昭 49. 3. 31
20代	佐々木 宏	〃	昭 49. 4. 1	～	昭 53. 3. 31
21代	小原房之助	〃	昭 53. 4. 1	～	昭 56. 3. 31
22代	安田幸保	〃	昭 56. 4. 1	～	昭 59. 3. 31
23代	遊佐喜八郎	〃	昭 59. 4. 1	～	昭 61. 3. 31
24代	小畑 謙	〃	昭 61. 4. 1	～	平元. 3. 31
25代	菊池増次郎	〃	平元. 4. 1	～	平 4. 3. 31
26代	太田原 弘	〃	平 4. 4. 1	～	平 6. 3. 31
27代	森田俊輔	〃	平 6. 4. 1	～	平 8. 3. 31
28代	高瀬尚紀	〃	平 8. 4. 1	～	平 10. 3. 31
29代	小野寺哲汎	〃	平 10. 4. 1	～	平 13. 3. 31
30代	渡部航志郎	〃	平 13. 4. 1	～	平 16. 3. 31
31代	中里四志雄	〃	平 16. 4. 1	～	平 19. 3. 31
32代	松岡隆之	〃	平 19. 4. 1	～	平 21. 3. 31
33代	菅原完司	〃	平 21. 4. 1	～	平 23. 3. 31
34代	清水輝男	〃	平 23. 4. 1	～	平 25. 3. 31
35代	菊池和豊	〃	平 25. 4. 1	～	平 27. 3. 31
36代	佐々木和哉	〃	平 27. 4. 1	～	平 29. 3. 31
37代	小笠原健一郎	〃	平 29. 4. 1	～	平 31. 3. 31
38代	荒木田光孝	〃	平 31. 4. 1	～	令 3. 3. 31
39代	高橋正浩	〃	令 3. 4. 1	～	令 5. 3. 31
40代	三田正巳	〃	令 5. 4. 1	～	

3 教育目標

1 教育目標

- (1) 自他の人格を敬愛し、心身ともに健全な人間の育成
- (2) 自主自立の精神を持ち、社会に貢献できる人間の育成
- (3) 自己の能力を伸ばし、学び続ける意欲を持つ人間の育成

2 教育方針

- (1) 生徒個々の課題に対応する教育実践の先進校
生徒個々の特性、習熟度及び課題を把握し、一人ひとりを目指へと導くための適切な指導、効果的なアドバイスや支援を教員チーム全体で実践する
- (2) 社会に貢献できる明るく元気な生徒の育成
自立した行動と社会で活躍できる生徒を育てる。生徒が生き生きと動ける場と機会を与え、自信をもって主体的に行動できる人材を育成する

3 目指す学校像

- (1) 「一人ひとりの生徒を教職員が全力で支える学校」
- (2) 「生徒が、明るく、生き生きと活動できる学校」

4 目指す生徒像

- (1) 心身ともに健康で自己実現を目指す生徒
- (2) 自ら課題を発見し、解決を目指し努力し続ける生徒
- (3) 社会人として規範意識を持ち、社会に寄与できる生徒

5 重点目標

- (1) 一人ひとりの生徒に対応した教育実践と教育相談の充実
- (2) 社会人としての生きる力の育成
- (3) 魅力ある学校づくりと開かれた学校づくり
- (4) きめ細やかな指導による進路希望の達成
- (5) 明朗な学校生活と生活指導による人間形成の充実
- (6) 防災・復興教育、主権者教育の推進

4 設置課程及び学科

(1) 定時制課程（単位制）

本校	普通科	1・2部 3部	120名 40名
奥州校	普通科	昼間部 夜間部	40名 40名

(2) 定時制における単位制の特色

- ア 学年による教育課程の区分を設けず、各自の計画に従って学習できる。（無学年制）
- イ 学習計画に基づいて、自分の興味、関心等に応じた科目選択ができる。（選択履修）
- ウ 74単位を修得すれば、3年以上で卒業できる。
- エ 授業は、1部（主に午前）、2部（主に午後）、3部（主に夜間）がある。
- オ 3部では、定時制課程と通信制課程の2つの学び方で学習できる。（定通併修）

(3) 通信制課程

本科生	本校	普通科	220名
	(奥州校)		
科目履修生			若干名

(4) 通信制の特色

- ア 各自の生活スタイルや希望により、卒業を目指して学習を進められる。
- イ クラスや学年、年齢の枠にとらわれず学習を進められる。
- ウ 1年に2回（前期、後期）単位が認定される二期制である。
- エ レポート（R：添削指導）、スクーリング（S：面接指導）、テスト（T：試験）が学習を進める三本柱である。
- オ R、S、Tの3つの条件をそろえることで単位が認定される。

5 教育課程・生活時程

(1) 定 時 制

令和5年度教育課程（学習指導要領（平成30年度告示）による）

教科	科目	標準 単位数	1・2年次			備考
			必修	選択必修	自由選択	
国語	現代の国語	2	②			「論理国語」、「文学国語」、「国語表現」及び「古典探究」は「現代の国語」及び「言語文化」を履修した後に履修 学校設定科目 学校設定科目
	言語文化	2	②			
	論理国語	4			4	
	文学国語	4			4	
	国語表現	4				
	古典探究	4				
	現代文特論	2				
	文学教室	2				
地理歴史	地理総合	2	②			「地理総合」履修後 「歴史総合」履修後 「歴史総合」履修後 学校設定科目 「日本史探究」履修後 学校設定科目 「地理探究」履修後
	地理探究	3				
	歴史総合	2	②			
	日本史探究	3			4	
	世界史探究	3			4	
	日本史特論	2				
公民	公共	2	②			「公共」履修後 「公共」履修後 学校設定科目 「公共」履修後
	倫理	2			2	
	政治・経済	2			2	
	公民特論	2				
数学	数学Ⅰ	3	④			Ⅰの履修後Ⅱ、Ⅲの順に履修 Ⅰの履修後またはⅠと並行履修 Ⅰの履修後 Ⅰの履修後 学校設定科目 「数学Ⅰ」履修後 学校設定科目 「数学Ⅱ」履修後
	数学Ⅱ	4			4	
	数学Ⅲ	3				
	数学A	2			2	
	数学B	2			2	
	数学C	2			2	
	数学教養	2			2	
	数学特論	2				
理科	科学と人間生活	2				「科学と人間生活」更に「基礎」の付いた科目から1科目、または「基礎」の付いた科目3科目 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の各科目はそれぞれに対応する基礎を付した科目を履修後
	物理基礎	2		②		
	物理	4				
	化学基礎	2		②		
	化学	4			4	
	生物基礎	2		②		
	生物	4			4	
	地学基礎	2		②		
保健 体育	体育	7～8	⑥			1年:4単位 2年:2単位 3年:2単位の分割履修 2年次で履修
	保健	2	②			
芸術	音楽Ⅰ	2		②		1科目選択必修 Ⅰの履修後Ⅱ、Ⅲの順に履修 学校設定科目 「音楽Ⅰ」履修後 学校設定科目 「美術Ⅰ」履修後 学校設定科目 「書道Ⅰ」履修後 学校設定科目 「書道Ⅱ」履修後
	音楽Ⅱ	2			2	
	音楽Ⅲ	2			2	
	美術Ⅰ	2		②		
	美術Ⅱ	2			2	
	美術Ⅲ	2			2	
	書道Ⅰ	2		②		
	書道Ⅱ	2			2	
	書道Ⅲ	2			2	
	器楽(ピアノ)	2			2	
	素描	2			2	
	実用の書	2			2	
	硬筆	2			2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	④			Ⅰの履修後、Ⅱ、Ⅲの順に履修 「英語コミュニケーションⅠ」履修後
	英語コミュニケーションⅡ	4			4	
	英語コミュニケーションⅢ	4				
	論理・表現Ⅰ	2			2	
家庭	家庭基礎	2		②		1科目選択必修
	家庭総合	4		④		
情報	情報Ⅰ	2	②			
職業体験	インターンシップ	1			1	学校設定科目
共通教科・科目の単位数の計			28	20	67	
商業	ビジネス基礎	2～4			2	「情報処理」または「簿記」履修後
	課題研究	2～4				
	簿記	2～4			4	
	情報処理	2～4			2	
家庭	服飾手芸	2～6				「家庭基礎」または「家庭総合」履修後
	フードデザイン	2～8				
専門教科・科目の単位数の計			0	0	8	
総合的な探究の時間			②			
ホームルーム活動			2			
合計				90・80		30h/週×3年・20h/週×4年

令和5年度教育課程（学習指導要領（平成21年度告示）による）

教科	科目	標準 単位数	3・4年次			備考
			必修	選択必修	自由選択	
国語	国語総合	4				学校設定科目「国語総合」履修後 学校設定科目「国語総合」履修後
	現代文B	4			4	
	古典A	2			2	
	古典B	4				
	現代文特論	2			2	
	文学教室	2			2	
地理歴史	世界史A	2				1科目選択必修 「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」から1科目 選択必修 学校設定科目「世界史B」履修後 学校設定科目「日本史B」履修後 学校設定科目「地理B」履修後
	世界史B	4				
	日本史A	2				
	日本史B	4		④		
	地理A	2				
	地理B	4		④		
	世界史特論	2			2	
	日本史特論	2			2	
地理特論	2			2		
公民	現代社会	2				「現代社会」または 「倫理」+「政治・経済」を選択 学校設定科目「倫理」+「政治経済」履修後
	倫理	2				
	政治・経済	2				
	公民特論	2			2	
数学	数学Ⅰ	3				Ⅰの履修後Ⅱ、Ⅲの順に履修 Ⅰの履修後またはⅠと並行履修 Ⅰの履修後 学校設定科目「数学Ⅰ」履修後 学校設定科目「数学Ⅱ」履修後
	数学Ⅱ	4				
	数学Ⅲ	5			4	
	数学A	2				
	数学B	2				
	数学教養	2				
	数学特論	2			2	
理科	科学と人間生活	2		②		「科学と人間生活」更に「基礎」の付いた科目から 1科目、または「基礎」の付いた科目3科目 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の各科目は それぞれに対応する基礎を付した科目を履修後
	物理基礎	2				
	物理	4			4	
	化学基礎	2				
	化学	4			4	
	生物基礎	2				
	生物	4			4	
	地学基礎	2				
地学	4			4		
保健 体育	体育	7~8	②			1年:4単位 2年:2単位 3年:2単位の分割履修 2年次で履修
	保健	2				
芸術	音楽Ⅰ	2				1科目選択必修 Ⅰの履修後Ⅱ、Ⅲの順に履修 学校設定科目「音楽Ⅰ」履修後 学校設定科目「美術Ⅰ」履修後 学校設定科目「書道Ⅰ」履修後 学校設定科目「書道Ⅱ」履修後
	音楽Ⅱ	2				
	音楽Ⅲ	2				
	美術Ⅰ	2				
	美術Ⅱ	2				
	美術Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2				
	書道Ⅱ	2				
	書道Ⅲ	2				
	器楽(ピアノ)	2				
	素描	2				
	実用の書	2				
硬筆	2					
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3				Ⅰの履修後Ⅱ、Ⅲの順に履修 「コミュニケーション英語Ⅰ」履修後
	コミュニケーション英語Ⅱ	4				
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			4	
	英語表現Ⅰ	2			2	
	英語会話	2			2	
家庭	家庭基礎	2				1科目選択必修
	家庭総合	4				
情報	社会と情報	2	②			
職業体験	インターンシップ	1			1	学校設定科目
共通教科・科目の単位数の計			4	10	49	
商業	ビジネス基礎	2~6				「総合実践」、「情報処理」、「ビジネス実務」、「簿記」のいずれか履修後
	課題研究	2~6			4	
	総合実践	2~6				
	ビジネス実務	2~6				
	簿記	2~6				
	情報処理	2~6				
家庭	服飾手芸	2~6			4	「家庭基礎」または「家庭総合」履修後
	フードデザイン	2~8			4	
専門教科・科目の単位数の計			0	0	12	
総合的な探究の時間			3~6	②		令和元年度以降の入学生が履修する科目
総合的な学習の時間			3~6			平成30年度以前の入学生が履修する科目
ホームルーム活動			2			
合計				90・80		30h/週×3年・20h/週×4年

(2) 通信制

令和5年度教育課程（学習指導要領（平成30年度告示）による）

教科	科目	標準 単位数	1～4年次			備考
			必修	選択必修	自由選択	
国語	現代の国語	2	②			学校設定科目。「現代の国語」及び「言語文化」履修後
	言語文化	2	②			
	論理国語	4			4	
	文学国語	4				
	国語表現	4				
	古典探究	4			4	
地理歴史	地理総合	2	②			
	地理探究	3				
	歴史総合	2	②			
	日本史探究	3			4	
	世界史探究	3			4	
公民	公共	2	②			
数学	数学Ⅰ	3	④			「数学Ⅰ」履修後 学校設定科目。「数学Ⅰ」履修後
	数学Ⅱ	4				
	数学A	2				
	教養数学	2				
理科	物理基礎	2		②		「基礎」の付いた科目から、3科目選択必修 「生物基礎」履修後
	化学基礎	2		②		
	化学	4				
	生物基礎	2		②		
	生物	4			4	
保健体育	体育	7～8	④			1年次から4年次で履修 入学年次以降の連続する年次で履修
	保健	2	②			
芸術	音楽Ⅰ	2	②			1科目選択必修 Ⅰの履修後、Ⅱ、Ⅲの順に履修
	音楽Ⅱ	2				
	音楽Ⅲ	2				
	美術Ⅰ	2	②			
	美術Ⅱ	2				
	美術Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2	②			
	書道Ⅱ	2				
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	④			「英語コミュニケーションⅠ」履修後 学校設定科目。「英語コミュニケーションⅠ」履修後
	英語コミュニケーションⅡ	4				
	論理・表現Ⅰ	2			2	
	教養英語	2				
家庭	家庭総合	4	④			1年から3年の連続する年次で履修
情報	情報Ⅰ	2	②			
共通教科・科目の単位数の計			36	8	22	
商業	ビジネス基礎	2～4				
	ソフトウェア活用	2～4				
家庭	フードデザイン	2～8				「家庭総合」履修後
専門教科・科目の単位数の計			0	0	0	
総合的な探究の時間		3～6	②			
ホームルーム活動			年間10時間以上			3年間で30時間以上、4年間で40時間以上
合計			38	8	22	
備考		※年間修得単位数は、30単位までとする。 ※卒業は、74単位以上とする。				

令和5年度教育課程（学習指導要領（平成21年度告示）による）

教科	科目	標準 単位数	1～4年次			備考
			必修	選択必修	自由選択	
国語	国語表現	3			4	学校設定科目。「国語総合」履修後
	現代文B	4				
	古典B	4				
	教養国語	2			2	
地理歴史	世界史B	4				「日本史B」「地理B」から、1科目選択必修
	日本史B	4				
	地理B	4		④		
数学	数学Ⅰ	3				「数学Ⅰ」履修後
	数学Ⅱ	4			4	
	数学A	2			2	学校設定科目。「数学Ⅰ」履修後
	教養数学	2			2	
理科	物理基礎	2				「化学基礎」履修後
	化学	4			4	
	生物	4				
保健体育	体育	7～8	④			1年次から4年次で履修
	保健	2				入学年次以降の連続する年次で履修
芸術	音楽Ⅰ	2				1科目選択必修 Ⅰの履修後、Ⅱ、Ⅲの順に履修
	音楽Ⅱ	2			2	
	音楽Ⅲ	2			2	
	美術Ⅰ	2				
	美術Ⅱ	2			2	
	美術Ⅲ	2			2	
	書道Ⅰ	2				
	書道Ⅱ	2			2	
	書道Ⅲ	2			2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4				「コミュニケーション英語Ⅰ」履修後
	コミュニケーション英語Ⅱ	4			4	
	英語表現Ⅰ	2				学校設定科目。「コミュニケーション英語Ⅰ」履修後
	教養英語	2			2	
家庭	家庭総合	4				1年から3年の連続する年次で履修
共通教科・科目の単位数の計			4	4	36	
商業	ビジネス基礎	2～6			2	
	情報処理	2～6			4	
家庭	フードデザイン	2～8			4	「家庭総合」履修後
専門教科・科目の単位数の計			0	0	10	
総合的な探究の時間		3～6	2			
ホームルーム活動			年間10時間以上			3年間で30時間以上、4年間で40時間以上
合計			6	4	46	
備考		※年間修得単位数は、30単位までとする。 ※卒業は、74単位以上とする。				

(3) 特別活動の指導目標

<p>ア 定時制</p> <p>(ア) 特別活動の充実と積極的参加体制の確立</p> <p>(イ) 個人の実態把握とそれに応じた指導の徹底</p> <p>(ウ) 生徒の自主活動の育成</p> <p>イ 通信制</p> <p>(ア) 人間対人間の「心のふれあい」による全人教育</p> <p>(イ) 生徒の自主的運営による特別活動の活性化</p>
--

(4) 生活時程表

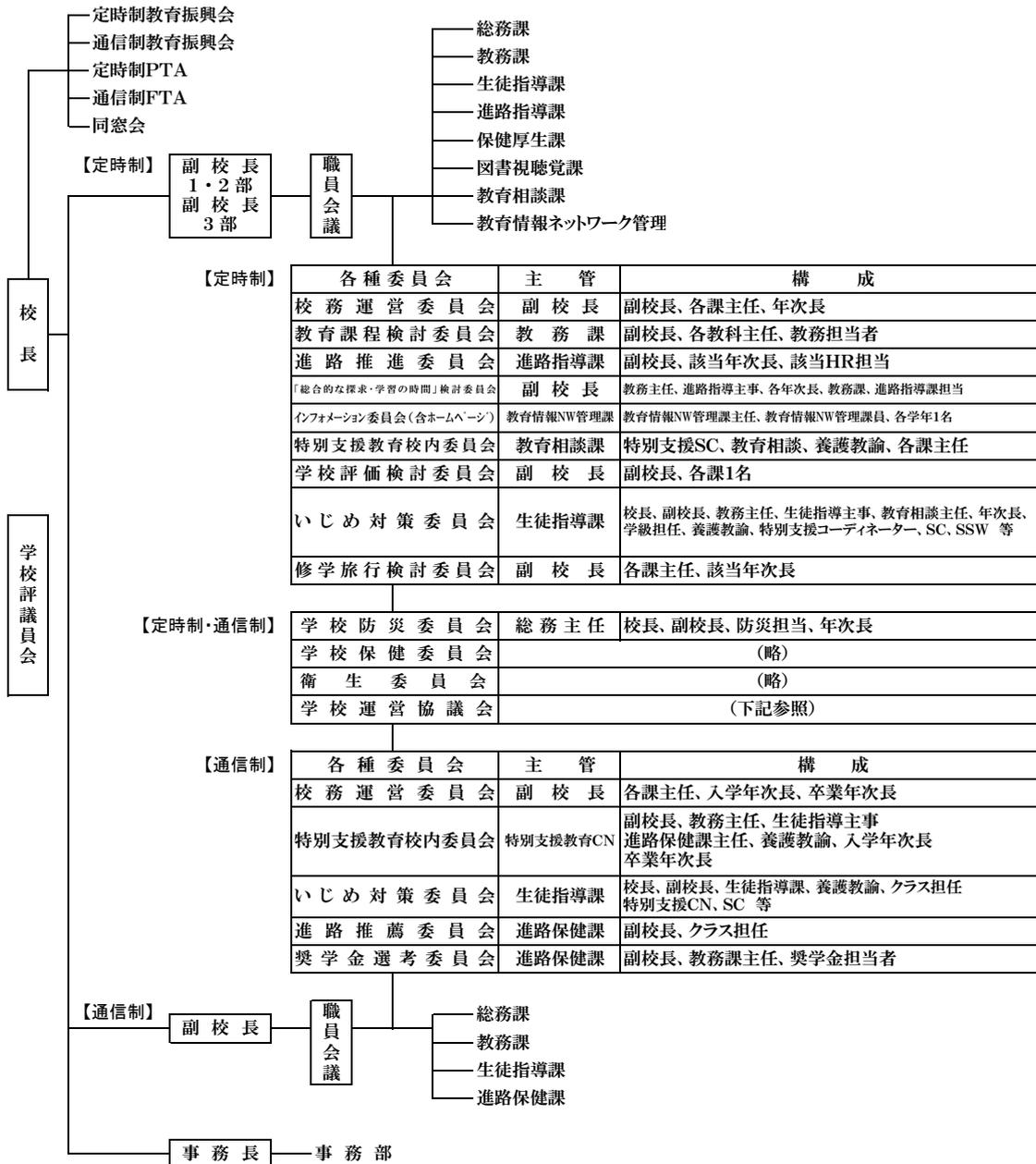
ア 定時制

	職員朝会	8:30~8:40		
	1校時	8:45~9:35	教室整理	
◎1部(午前授業) 1~4校時	2校時	9:45~10:35	部活動	15:35~
◎2部(昼間授業) 3~6校時	3校時	10:45~11:35	職員夕会	15:50~16:00
◎1・2部(6時間授業) 1~6校時	S H R	11:40~11:50	9校時	17:45~18:35
◎3部(夜間授業) 9~12校時	清掃	11:50~12:05	10校時	18:40~19:30
	4校時	12:10~13:00	11校時	19:35~20:20
	昼食	13:00~13:45	12校時	20:25~21:10
	5校時	13:45~14:35	清掃	21:10~21:20
	6校時	14:45~15:35		

イ 通信制

本校(日曜日)		本校(月・水曜日)	
1校時	8:55~9:45	1校時	8:45~9:35
2校時	9:55~10:45	2校時	9:45~10:35
3校時	10:55~11:45	3校時	10:45~11:35
S H R	11:50~12:00	S H R	11:40~11:50
昼食	12:00~12:45	清掃	11:50~12:05
4校時	12:45~13:35	4校時	12:10~13:00
5校時	13:45~14:35	昼食	13:00~13:45
6校時	14:45~15:35	5校時	13:45~14:35
7校時	15:45~16:35	6校時	14:45~15:35
		7校時	15:45~16:35

(3) 学校運営機構図



(4) 学校運営協議会委員

赤石 真美 柴田 勇一 小田 加代子 本山 敬祐 吉田 真雄 高瀬 鮎子 細越澤 幸子
千葉 仁 加藤 源広 三浦 隆 熊谷 道仁 大槻 英樹 藤田 早苗 大津 美保子 永山 信

(5) スクールカウンセラー

中井 徹 及川 瑠美子

(6) 学校医

内科:大平 篤志 耳鼻咽喉科:河嶋 寛 眼科:木村 桂
精神科:菊地 澄恵 歯科:大久保 卓也 薬剤師:菅原 俊英

(7) 職員勤務時間

ア 定時制

Aタイプ 8:30～17:00 (1・2部職員、事務部)
Bタイプ 11:20～19:50 (3部職員、全校行事日程等)
Cタイプ 12:50～21:20 (3部職員、夜間通常授業日)

イ 通信制

本校 8:30～17:00

8 生徒在籍状況

(1) 生徒在籍数

(令和5年6月1日現在)

ア 定時制

科	1年次			2年次			3年次			4年次			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本校普通科	6	16	22	8	14	22	12	22	34	13	8	21	39	60	99

イ 通信制

本校	学級	1年次				2年次				3年次				4年次				合計			
		男	女	小計	学級	男	女	小計	学級	男	女	小計	学級	男	女	小計	学級	男	女	小計	
普通科	1	7	18	25	2	7	34	41	3	11	41	52	3	112	141	253	9	137	234	371	
MJP	1	3	-	3	1	2	-	2	1	2	-	2	-	-	-	-	3	7	-	7	
計	2	10	18	28	3	9	34	43	4	13	41	54	3	112	141	253	12	144	234	378	
科目生	0	0	0	0																	

受講生徒数	165
-------	-----

(2) 在学生の年齢構成

ア 定時制

年次	性別	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳~24歳	25歳~29歳	30歳~	計
		1年次	男	4	2	0	0	0	0	0
	女	13	3	0	0	0	0	0	0	16
	計	17	5	0	0	0	0	0	0	22
2年次	男	0	4	4	0	0	0	0	0	8
	女	0	10	4	0	0	0	0	0	14
	計	0	14	8	0	0	0	0	0	22
3年次	男	0	0	8	4	0	0	0	0	12
	女	0	0	15	5	0	2	0	0	22
	計	0	0	23	9	0	2	0	0	34
4年次	男	0	0	0	4	3	6	0	0	13
	女	0	0	0	7	0	1	0	0	8
	計	0	0	0	11	3	7	0	0	21
合計	男	4	6	12	8	3	6	0	0	39
	女	13	13	19	12	0	3	0	0	60
	計	17	19	31	20	3	9	0	0	99

イ 通信制

性	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳~24歳	25歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~	計
普通科	3	6	6	12	7	23	39	43	4	0	1	144
	14	21	38	24	11	30	43	45	4	3	1	234
計	17	27	44	36	18	53	82	88	8	3	2	378

(3) 市町村別生徒数

ア 定時制

市町村名	男	女	計	市町村名	男	女	計	市町村名	男	女	計
盛岡市	22	41	63	平泉町	0	0	0	洋野町	0	0	0
雫石町	0	0	0	一関市	0	0	0	野田村	0	0	0
滝沢市	4	4	8	大船渡市	1	0	1	普代村	0	0	0
紫波町	2	2	4	陸前高田市	0	0	0	二戸市	0	0	0
矢巾町	1	1	2	住田町	0	0	0	一戸町	0	0	0
葛巻町	0	0	0	釜石市	2	0	2	軽米町	0	1	1
岩手町	2	3	5	大槌町	0	0	0	九戸村	0	0	0
八幡平市	1	1	2	遠野市	0	0	0	県外	0	0	0
花巻市	1	5	6	宮古市	0	1	1	その他	0	0	0
北上市	3	1	4	山田町	0	0	0	合 計	39	60	99
西和賀町	0	0	0	岩泉町	0	0	0				
奥州市	0	0	0	田野畑村	0	0	0				
金ヶ崎町	0	0	0	久慈市	0	0	0				

(4) 職業別生徒数（アルバイト従事者）

ア 定時制

職業	年次	1年次			2年次			3年次			4年次		
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
サービス		0	1	1	0	0	0	1	1	2	1	2	3
販売		0	1	1	1	0	1	0	1	1	1	2	3
生産工程		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
運輸・清掃・梱包		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	2	2	1	1	2	1	2	3	3	4	7

(5) 新入生内訳(4月)

課 程	一般生	転入生	編入生	合 計
定 時 制	20	7	1	27
通 信 制	17	26	4	47

(6) 最近5か年間卒業生徒数

ア 定時制

年 度	科 性別	普 通 科		
		男	女	計
平成30年度		16	11	27
令和元年度		13	9	22
令和2年度		11	9	20
令和3年度		11	14	25
令和4年度		12	21	33
卒業生徒総数		定時制		5,585名
		定時制(単位制)		2,105名

イ 通信制

年 度	科 性別	普通科	衛生看護科	合計
		平成30年度	男	17
	女	28	0	28
	計	45	0	45
令和元年度	男	15	0	15
	女	16	0	16
	計	31	0	31
令和2年度	男	14	0	14
	女	24	0	24
	計	38	0	38
令和3年度	男	15	0	15
	女	41	0	41
	計	56	0	56
令和4年度	男	18	0	18
	女	37	0	37
	計	55	0	55
卒業生数		5,764名		

9 過去3年間の進路状況

(1) 定 時 制

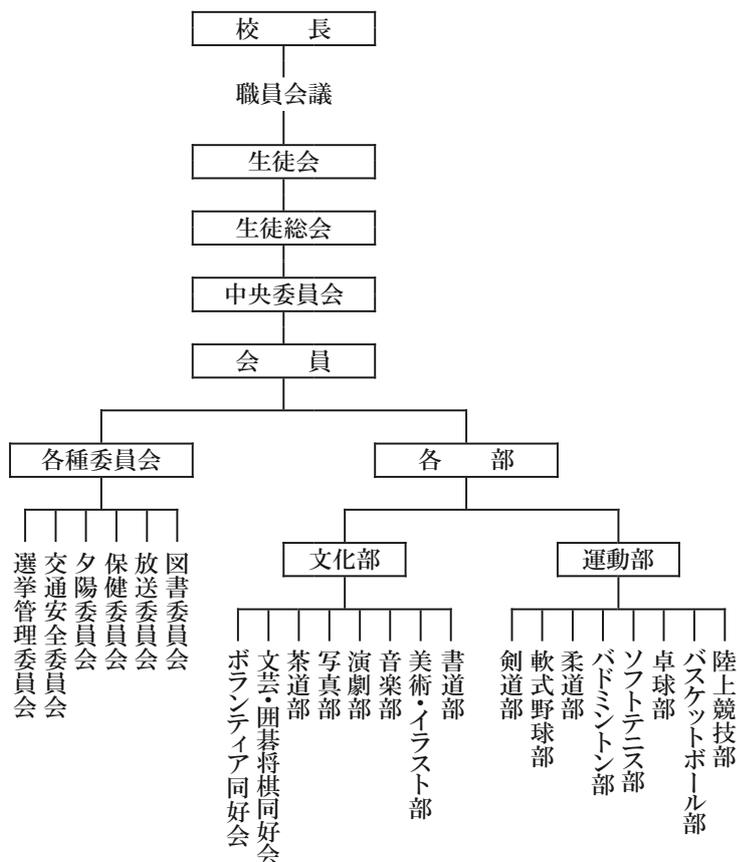
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大学・短大進学	東北芸術工科大学〔2名〕 富士大学 盛岡大学 淑徳大学 弘前学院大学 東北文化学園大学	東北芸術工科大学 桃山学院大学 盛岡大学 医療創生大学 放送大学 郡山女子短期大学 岩手県立大学宮古短期大学部 大月市立大月短期大学	岩手大学 岩手県立大学 盛岡大学〔2名〕 岩手保健医療大学 東北福祉大学 東京聖栄大学 盛岡大学短期大学部 大月市立大月短期大学
専修学校・その他進学	東北電子専門学校 北上コンピュータアカデミー	北日本ヘア・スタイリストカレッジ 宮城文化服装専門学校 北日本カレッジ北日本医療福祉 専門学校 北日本ハイテクニカルクッキング カレッジ 岩手県立農業大学校	北日本ヘア・スタイリストカレッジ 北上コンピュータ・アカデミー MCL 盛岡外語観光&ブライダル 専門学校 MCL 盛岡公務員法律専門学校 MCL 盛岡ペットワールド専門学校 北日本ハイテクニカルクッキング カレッジ〔2名〕 岩手理容美容専門学校
就職	社団医療法人康生会鶯宿温泉病院 (株) 竹芳 (株) ジャパンファーム東日本チキン スーパーレジクラフト (株) キオクシア岩手 (株) 諸見里工業 岩手農協チキンフーズ(株) (株) ヒラトヤ ヒラトヤリネン	(株) KY コーポレーション (株) 二富電機 北映商事 (株) ネイルサロン「ラポーテ」 (株) トムケアジャパン	第一商事 (株) (株) ENEOS ウイング東北支店 セブンイレブン花巻松園一丁目店 (株) みちのくホテルズつなぎ温泉 「四季亭」 さかもと眼科クリニック

(2) 通 信 制

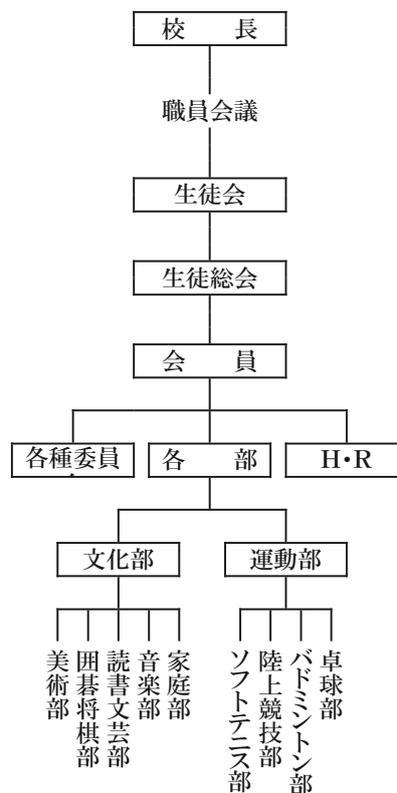
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大学 短大	<p>日本大学 東京造形大学</p>	<p>盛岡大学 社会文化科 盛岡大学 日本文学科 慶応大学 文学部 通信制課程 岩手県立産業技術短期大学校</p>	<p>長野大学 社会福祉学部 東京通信大学 情報マネジメント学部 聖和学園短期大学 キャリア開発 総合学科 仙台赤門短期大学 看護学科</p>
専修 学校 等	<p>北上コンピュータアカデミー 盛岡情報ビジネス&デザイン専門 学校</p>	<p>盛岡情報ビジネス&デザイン専門 学校 デザイン科 グラフィック デザイン科 インテリア 情報システム科 盛岡外語観光&ブライダル専門学校 仙台スイーツアンドカフェ専門学校 東日本医療専門学校 横浜調理師専門学校 盛岡ペットワールド専門学校 東北電子専門学校 岩手県立盛岡視覚支援学校専攻科 バンタンゲームアカデミー</p>	<p>盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 仙台総合ビジネス公務員専門学校 東京服飾専門学校 東北電子専門学校 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 ミスパリーブ्यूティー専門学校 大阪アミューズメント専門学校 仙台デザイン&テクノロジー専門学校 仙台ビューティーアート専門学校 盛岡ペットワールド専門学校</p>
就 職	<p>本宮歯科医院 (有) まごのて エーエルプラス株式会社 (株) 流通サービス (株) 岩電 (有) ヤマト エッグディライト (株) (株) 兼平製麺所</p>	<p>岩手県職員 陸上自衛隊 岩手日産自動車 (株) 北上物産 (株) (株) ベルジョイス (株) にまいばしミート (株) 瑞光 (株) ホットマン (株) 兼平製麺所 (株) さんさ亭 (株) オリオンペーカリー (株) 田中工業所 (有) 川井林業 (有) 山口ステーブル (有) メルシー 康生会 鶯宿温泉病院</p>	<p>キオクシア岩手株式会社 東北 KAT 株式会社 株式会社グリーングリーン 株式会社メフォス北日本 一般社団法人 青草育英会 株式会社 兼平製麺 Evand 株式会社 株式会社 ケーエスシー</p>

10 生徒会機構

(1) 定時制



(2) 通信制



11 学校図書館

(1) 蔵書状況 (日本十進分類法による)

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	10 その他	計
冊数	98	342	438	885	608	246	178	768	235	3168	33	6999

令和5年3月31日現在

(2) 視聴覚教材数

● コンピュータ		● 移動式プロジェクター	8台
・ 情報処理室	42台	● ステレオ	1台
・ ビデオ学習室	43台	● ICT活用事業による整備	
・ ICT活用事業による整備		・ 超短焦点プロジェクター(各HR)	15台
タブレット型ノートPC	85台	・ 超短焦点プロジェクター(可動式)	3台
(定時制45台、通信制40台)		・ 実物投影機	3台

12 教育振興会

(1) 定時制

役 職	氏 名
会 長	松 岡 隆 之
副 会 長	佐 藤 清 一
	三 田 正 巳
監 事	小 綿 幸 子
	菅 原 加 奈 子
	平 山 道 郎
事務局長	大 津 美 保 子

(2) 通 信 制

役 職	氏 名
会 長	松 岡 隆 之
副 会 長	水 野 洋 子
	小 形 千 秋
	三 田 正 巳
監 事	菊 地 恵 美
	南 舘 綾 子
	淺 野 美 樹
	後 藤 直 子
事務局長	藤 田 早 苗

13 P T A ・ F T A

(1) 定時制 P T A

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	佐 藤 清 一	監 事	小 綿 幸 子
副 会 長	田 中 悠 紀		菅 原 加 奈 子
	立 澤 文 見		平 山 道 郎
	三 田 正 巳	事務局長 大 津 美 保 子	

(2) 通 信 制 F T A

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	水 野 洋 子	監 事	菊 地 恵 美
副 会 長	有 馬 直 哉		南 舘 綾 子
		三 田 正 巳	事務局長 藤 田 早 苗

14 同 窓 会

役 職	氏 名	役 職	氏 名	
会 長	千 葉 仁	副 会 長	菅 原 計 二	事務局＝定時制
副 会 長	三 浦 拓 男	副 会 長	鳥 居 晋	
副 会 長	石 川 良 子	事務局長	大 津 美 保 子	

15 施設の状況

(1) 土地（建物敷地及びグラウンド用地他） ※財産台帳による

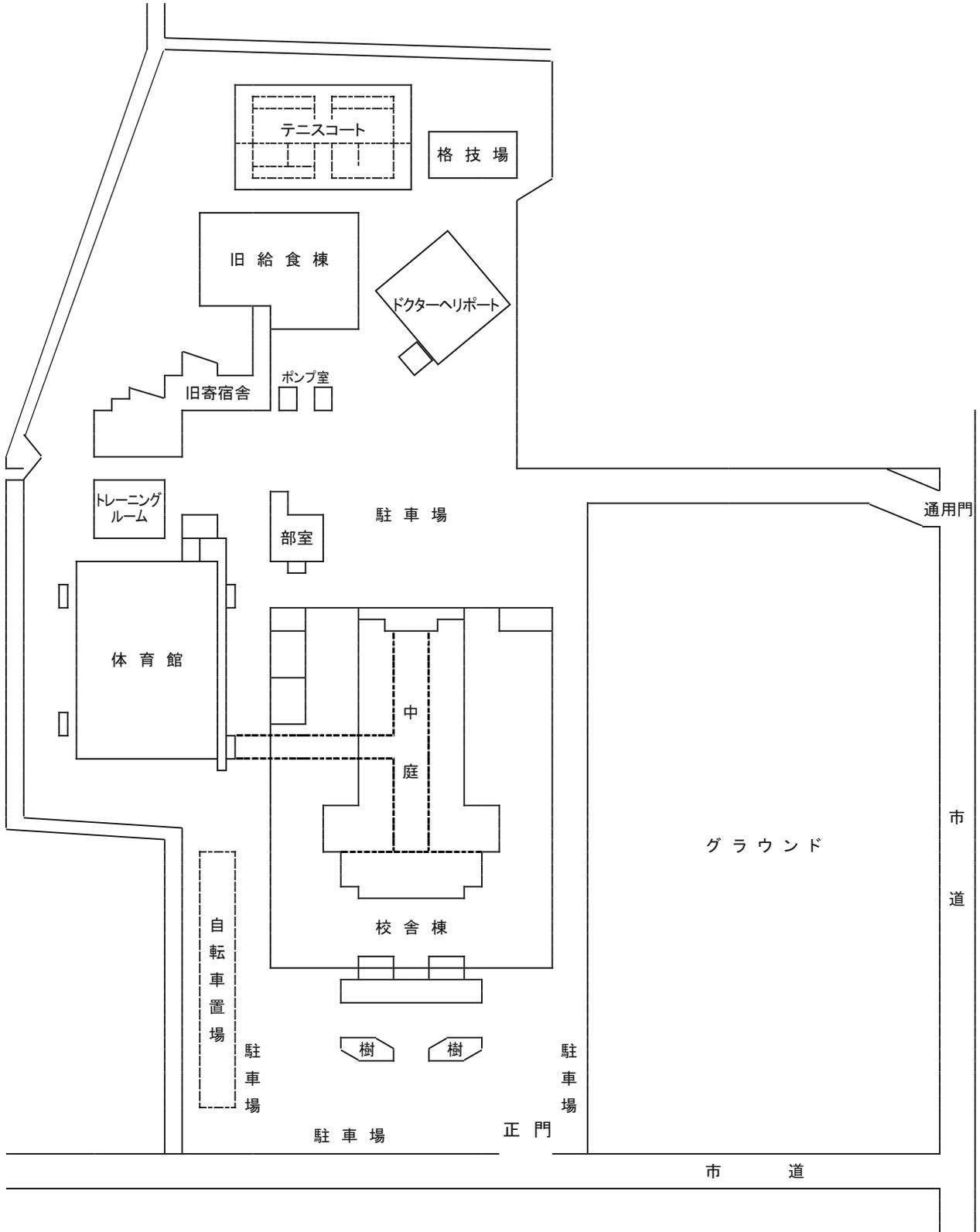
31,118.96 ㎡

(2) 建物（延べ面積）

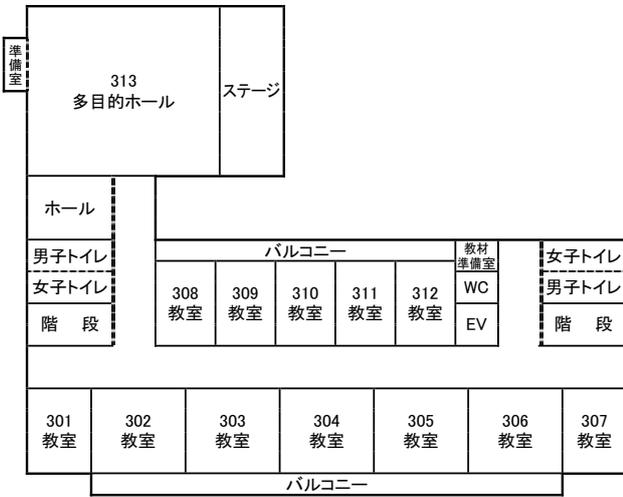
ア 校舎	7,032.25 ㎡
イ 体育館	1,263.13 ㎡
ウ 格技場	358.27 ㎡
エ 部室棟	227.40 ㎡
オ 給食棟	817.01 ㎡
カ 寄宿舎棟	978.34 ㎡
キ 食堂棟	224.10 ㎡
ク ポンプ室	20.00 ㎡



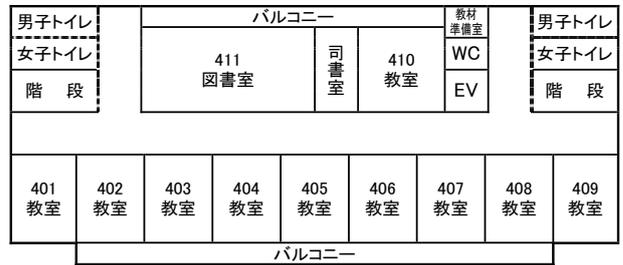
岩手県立杜陵高等学校
校舎等見取り図



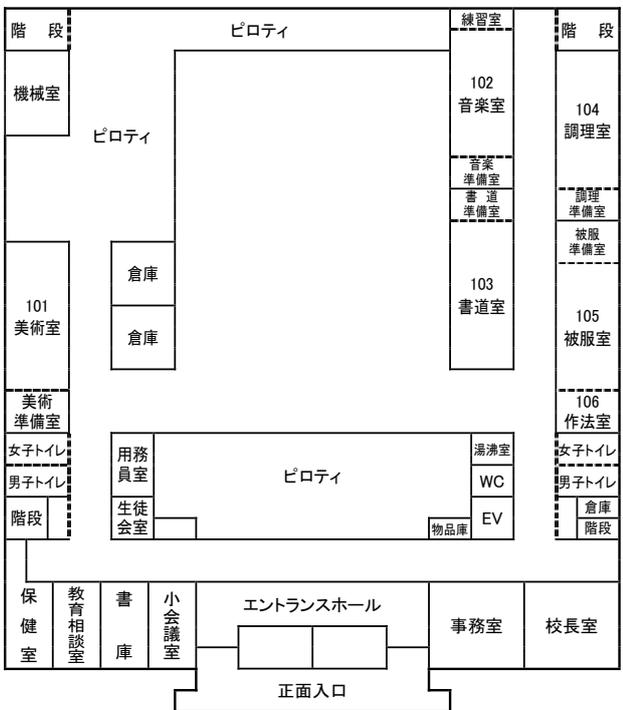
< 3 階 >



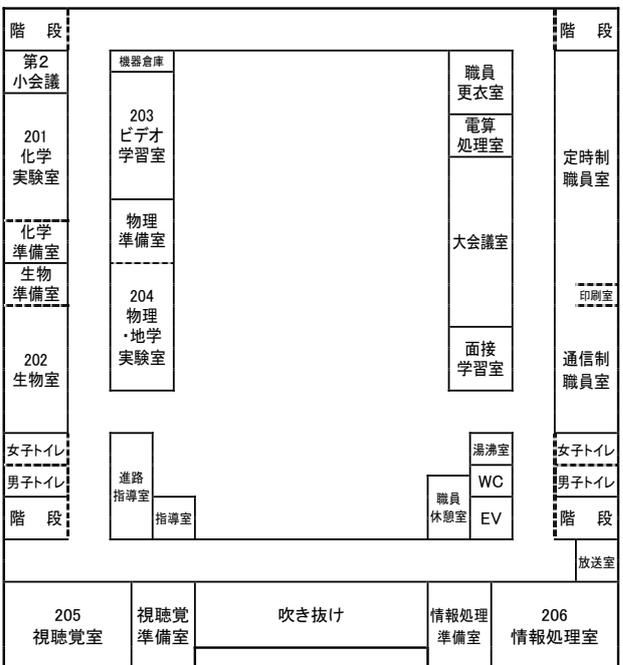
< 4 階 >



< 1 階 >



< 2 階 >





岩手県立杜陵高等学校

〒020-8543 盛岡市上田二丁目3番1号

TEL (019) - 652 - 1813 (事務室)

(019) - 652 - 1814 (定時制職員室)

(019) - 652 - 1123 (通信制職員室)

FAX (019) - 652 - 0195

ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/tor-h/>